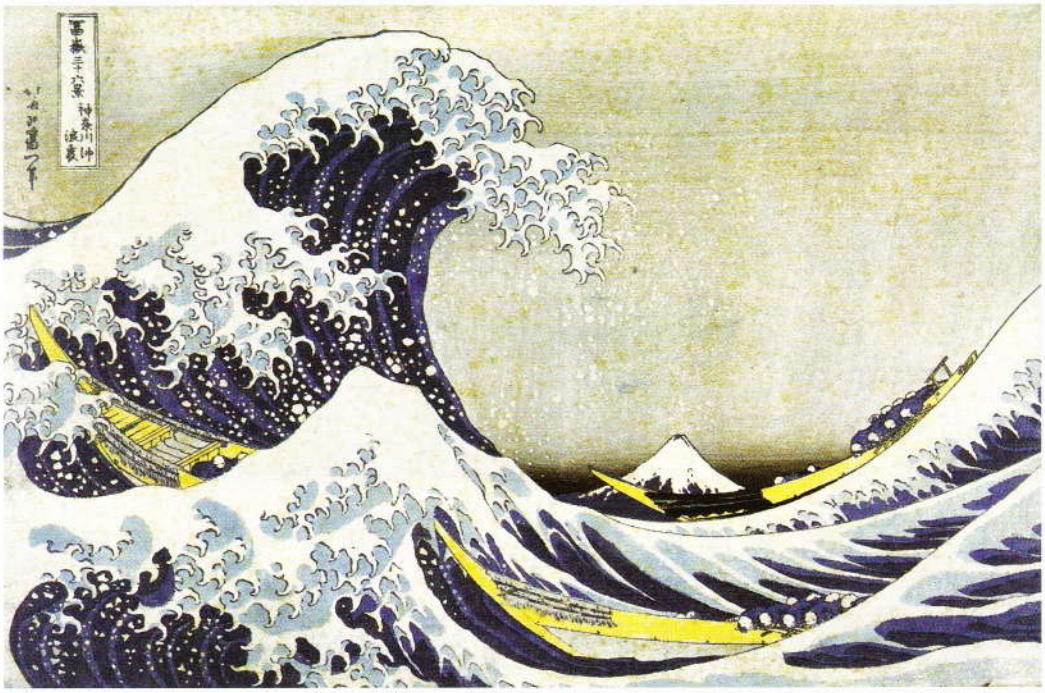
那珂川町馬頭広重美術館友の会ニュース〈第28号〉

風の色



葛飾北斎「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
中外産業株式会社 原安三郎コレクション

秋季特別展「北斎と広重 二大巨匠の名品展」

浮世絵の人気を二分する葛飾北斎（一七六〇～一八四九）と歌川広重（一七九七～一八五八）。二人は、江戸時代後期に浮世絵風景版画において著しい活躍を見せ、数々の名作を残しました。

葛飾北斎は、世界で最も有名な浮世絵、「大波（神奈川沖浪裏）」を含む「冨嶽三十六景」の作者として知られています。これらの作品は、文政（一八一八～三〇）末年頃から出版されました。富士山を関東周辺各地から眺め、その姿形の違いを描き分けたこの揃物は、それまで浮世絵の中で人物や物語の背景としてしか描かれてこなかった風景を主役として打ち出したもので、名所絵が流行る契機となりました。

その名所絵ブームの中で頭角を現したのが広重です。北斎の「冨嶽三十六景」に遅れること数年、広重は、版元・竹内孫八と鶴屋喜右衛門の合梓による揃物「東海道五拾三次之内」を発表しました。東海道の名所を大判で初めて扱ったこの揃物は大当たりをとり、この後、広重は名所絵の第一人者としての地位を確立していきます。

本展では、北斎の「冨嶽三十六景」、「諸国瀧廻り」、「諸国名橋奇覧」や、広重の保永堂版「東海道五拾三次之内」、「冨士三十六景」など、二人の風景版画の代表作を一堂に展示します。また、これまでほとんど展示されることのなかった北斎の「千絵の海」や「雪月花」、そして、北斎と広重の貴重な肉筆も併せてご紹介します。

風景画の二大巨匠、北斎と広重の繰り広げるすばらしい芸術世界をご堪能下さい。

馬頭広重美術館 主任学芸員　長井　裕子

夏季特別展

福を招く！猫じゃ猫じゃ展 記念講演会開催

「福を招く！猫じゃ猫じゃ展」記念講演会が、八月二日に夏目房之介氏を講師に招いて開催されました。

町内外から約二百名の参加があり、会場の馬頭総合福祉センター集会室がほぼ満員の盛況な講演会になりました。初めに福島町長のあいさつがあり、次に美術館友の会谷田部会長のあいさつのあと、講演会が始まり「『吾輩は猫である』と猫への憧れ」と題して、夏目家で飼っていた黒猫のエピソードや漱石の人柄などを夏目先生の思い出や感想とともにユーモアいっぱいのお話を聴かせていただきました。また、講演後には予定外のミニサイン会なども行われ、持参した著書にサインを頂けた楽しい講演会となりました。

花の風まつりで呈茶サービス

今年度も花の風まつりの期間に併せ、五月二日から五日までの四日間、文化協会茶道部の皆様にご協力をいただき、呈茶サービスを行いました。

和風建築の美術館にはピッタリの雰囲気の抹茶のサービスに、来館いただいたお客様にも大変好評で、ゆったりした和空間でおいしいお茶いただき、和を感じられる美術館見学を楽しんでいただきました。

美術館友の会総会

平成二十六年度総会は、六月十四日に美術館視聴覚研修室で開催いたしました。来賓には福島町長を招きお祝いのご挨拶をいただきました。総会は平成二十五年度事業報告並びに収支決算の承認、平成二十六年度事業計画及び収支予算について審議され、すべて原案のとおり決定されました。また、監事の交代も諮られ交代が承認されました。

友の会会員募集

馬頭広重美術館友の会は、美術鑑賞や美術館、浮世絵などに興味をお持ちの方の友の会への入会を募集しています。会員には、特別展や企画展が無料で何回でも観覧できるほか、美術館事業への協力や会員の教養・親睦を深めるための他美術館への見学会も実施していますので、友の会に入会して活動してみてはいかがですか。

年会費は

- 一般会員（一般）年額　三、〇〇〇円
- 一般会員（学生）年額　一、五〇〇円
- 特別会員（個人）年額　一〇、〇〇〇円
- 特別会員（法人）年額　三〇、〇〇〇円

それぞれ特典が付与されます。

問合わせ☎〇二八七（九二）一一九九

馬頭高校生の美化活動

七月二十二日に馬頭高校の生徒による「ふるさと美化活動」で広重美術館の通路、及び庭園の除草作業が実施されました。この活動は毎年この時期に希望者により実施されています。今年は、生徒三十八名、保護者八名、先生二名の四十八名が参加され、暑い中一時間半をかけて除草をしていただき美術館回りがきれいになりました。

美術館無料開放

毎年のお盆時期に帰省する皆さんにも楽しんで頂けるよう、無料開放日を設けていますが、今年度は八月十六日に午後七時まで時間を延長して無料開放いたしました。

当日は、広重街道や雪月花を会場にクラフトショップ&カフェが開催され、夕方から夜にはキャンドルナイトビアガーデンが開かれました。空模様が生憎の雨でしたが手づくりのクラフトショップはたくさんのお客さんで賑わっていました。夜は美術館の庭にたくさんのLEDライトで飾り、竹林をライトアップして静かな和空間の中ビアガーデンが開催されました。

視聴覚研修室 ギャラリー紹介

今年度も視聴覚研修室を使いギャラリーを開催しております。

五月には地主草径さんの「山径の会展」が行われ町内外の皆さんの書や墨絵などが飾られました。七月には、犬猫みなしご救援隊の「写真パネル展」が行われ、期間中に救援隊の中谷百里代表の「命」の大切さの講演などもありました。

八月は、もうひとつの美術館の「アートフォレスタ展」が行われ、ハンディキャップを持った作家の作品が展示され皆さんに感動を与えた展覧会になりました。

これからも視聴覚研修室を使ったいろいろなギャラリーが開催されますのでご来館の折にはご覧ください。

美術館ボランティア募集

美術館では、監視業務を主にボランティアの皆様にお願いしております。ボランティア人員が不足していますので美術館や浮世絵等に興味のある方はボランティアにご協力をお願いいたします。

- 募集対象
  - ・十八歳以上の方(高校生を除く)
- 活動日
  - ・半日又は一日の単位で活動できる方
- 活動内容
  - ・展示室内の監視など
- 問合せ先
  - 那珂川町馬頭広重美術館まで
  - ☎〇二八七(九二)一一九九

ワークショップの開催予定

第二回「秋の苔玉づくり」

季節の草花を使った苔玉を作って、秋の訪れを感じてみませんか。

開催日時／九月二十八日(日)
午後一時三十分から
参加費／一〇〇〇円(材料費込み)
定　員／十名
場　所／那珂川町馬頭広重美術館
広重街道
講　師／天生目　優 先生

第三回「ガラスワーク」

キラキラ輝く宝石のようなガラスの破片を使って、一輪挿しを作りましょう。

開催日時／十月十二日(日)
午後一時三十分から
参加費／五〇〇円(材料費込み)
定　員／十二名
場　所／那珂川町馬頭広重美術館
視聴覚研修室
講　師／NPO法人 大山田
ノンフェール・くらねえ

第四回「キャンドル教室」

クリスマスに向けて、お菓子のようなかわいらしいキャンドルを作りましょう。

開催日時／十一月十六日(日)
午後一時三十分から
参加費／八〇〇円(材料費込み)
定　員／十二名
場　所／那珂川町馬頭広重美術館
視聴覚研修室
講　師／細井春代 先生

今後の展覧会予定

秋季特別展

「北斎と広重　二大巨匠の名品展」

浮世絵の人気を二分する北斎と広重。二人はそれぞれ浮世絵風景版画の名作を数多く残しました。本展では、北斎の「冨嶽三十六景」、「諸国名橋奇覧」や広重の保永堂版「東海道五拾三次之内」、「冨士三十六景」など、二人の代表作を一堂に展示します。また、これまでほとんど展示されることのなかった北斎の「千絵の海」や「雪月花」、そして北斎と広重の貴重な肉筆も併せてご紹介します。

「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」葛飾北斎
中外産業株式会社 原安三郎コレクション

●会期
前期／十月十三日(月)まで
後期／十月十八日(土)～十一月二十四日(月)
●ミュージアムトーク(展示解説)
後期／十月十八日(土)
午後一時三〇分より

企画展

「忠臣蔵の世界展」

元禄十四年三月十四日(一七〇一年四月二十一日)、江戸城殿中松之大廊下で赤穂藩藩主・浅野長矩(内匠頭)が吉良義央上野介に刃傷沙汰に及んだことが事の発端です。この事件は後に人形浄瑠璃や歌舞伎の「仮名手本忠臣蔵」として上演され人気を博しました。今日でもドラマや映画などで繰り返し上演されています。本展では様々な浮世絵師が描いた「忠臣蔵」の世界を楽しんでください。

「忠臣蔵十一段目 夜討押寄」歌川広重

●会期
十一月二十九日(土)～一月十八日(日)
●ミュージアムトーク(展示解説)
十一月二十九日(土)
午後一時三〇分より

企画展

「幕末・明治の錦絵から　近代版画までの系譜展」

「品川」川瀬巴水

幕末から明治年間にかけて錦絵の彫摺技法は高度に発達します。しかし明治期になると西欧から輸入した写真機や石版の普及により錦絵は急激に衰退します。大正年間になると錦絵の衰退を憂いた渡辺庄三郎が「新版画運動」を提唱し、錦絵の技法で新しい創作活動を始めます。この活動が興隆した大正・昭和初期までを概観したいと思います。

●会期
一月二十三日(金)～三月一日(日)
●ミュージアムトーク(展示解説)
一月二十四日(土)
午後一時三〇分より

企画展

「青木コレクション展」

青木藤作は青年期の十七歳の時に徳富蘇峰の民友社から出版している「国民之友」を読んで感銘を受け翌年冬に東京市赤坂にあった蘇峰の自宅を訪れました。以来厚誼を賜り交流は藤作が亡くなるまで続きました。藤作の絵画の収集も蘇峰からの影響ではじまり浮世絵や油絵など様々な分野の美術品を収集しました。青木藤作が生涯をかけて収集した美術品の一角を垣間見たいと思います。

●会期
三月六日(金)～四月十二日(日)
●ミュージアムトーク(展示解説)
三月七日(土)
午後一時三〇分より

「江都八景 墨田暮雪」歌川広重

那珂川町馬頭広重美術館友の会ニュース　第28号
平成26年9月25日発行 ◎編集発行／馬頭広重美術館友の会
〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116-9
TEL 0287-92-1199　FAX 0287-92-7177
http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/